

## 「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画の見直し」(平成25年9月)の概要

区立学校の適正配置については、平成20年3月に策定した「新たな墨田区立学校適正配置等実施計画」に基づき実施しています。このたび、区内の人口増加に伴う児童・生徒数の増加や少人数学級への編制基準の検討など、児童・生徒をめぐる教育環境が急激に大きく変化していることから、平成25年9月に実施計画の見直しを行いました。

### ■見直しの概要

#### \*学校統廃合計画

計画の内容(平成25年度以降)	計画見直しの内容	
	見直しの方向	理由
平成26年4月 吾孀第一中学校と立花中学校	当初計画どおり実施	小規模化の解消のため
平成26年4月 吾孀第二中学校と寺島中学校	計画期間終了 (平成29年度) まで見送り	年少人口の増加、少人数学級化の動向、集合住宅の開発等の要因により、計画どおり実施すると適正規模(12~18学級)を超えてしまうことが予測されるため
平成26年4月 中川小学校と東吾孀小学校		
平成29年4月 豎川中学校と錦系中学校		

#### \*通学区域変更計画

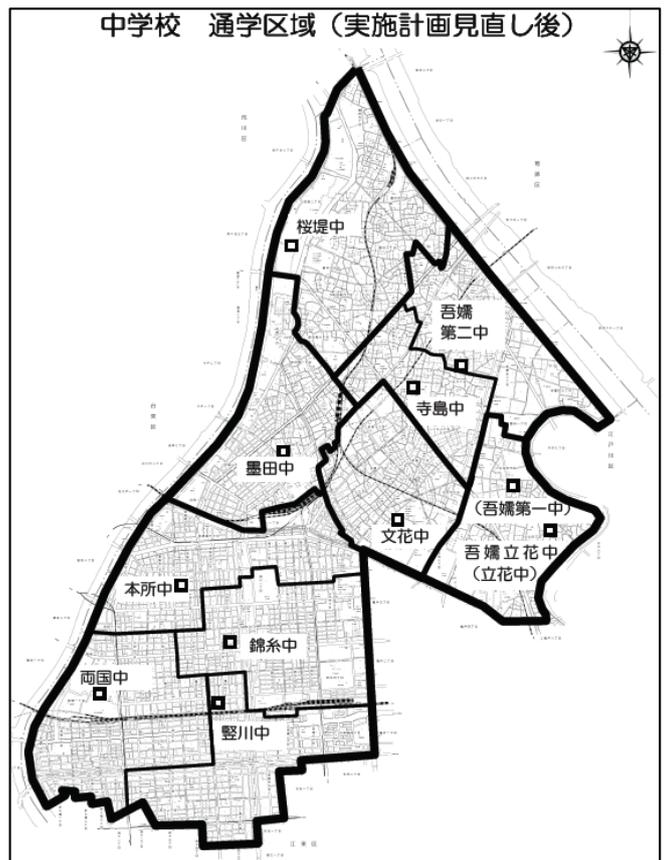
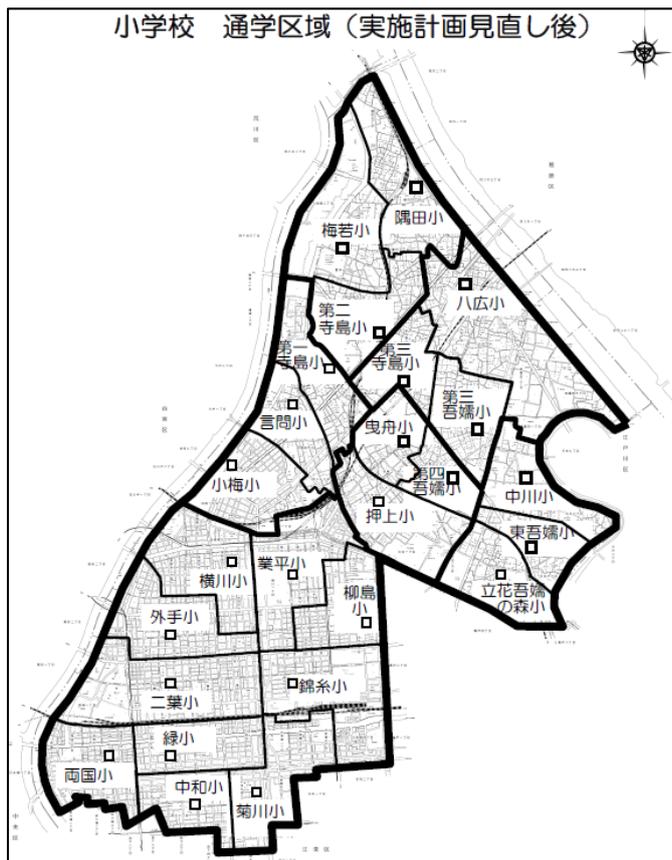
計画の内容(平成25年度以降)	計画見直しの内容	
	見直しの方向	理由
平成26年4月変更 小梅小学校から横川小学校	当初計画を変更して実施	地区の生活圏が区の南部を主としていること及び登下校の安全配慮のため
平成26年4月変更 八広小学校から中川小学校 吾孀第二中学校から吾孀立花中学校 吾孀第一中学校から寺島中学校	当初計画どおり実施	計画どおり吾孀第一中学校と立花中学校の統合を実施するため
平成29年4月変更 小梅小学校から業平小学校 墨田中学校から本所中学校	当初計画どおり実施	町会の区域が複数の学校にまたがっていることの解消及び小学校からの進学先中学校が複数に分かれている状況を改善するため
平成29年4月変更 本所中学校から墨田中学校	当初計画を変更して取りやめ	地区の生活圏が区の南部を主としているため
平成26年4月変更 八広小学校から第三寺島小学校	計画期間終了 (平成29年度) まで見送り	吾孀第二中学校と寺島中学校の統廃合計画を見送りすることにより、通学区域を再編することができないため
平成29年4月変更 業平小学校から柳島小学校 錦系小学校から柳島小学校 業平小学校から錦系小学校 柳島小学校から錦系小学校 錦系小学校から菊川小学校 両国中学校から本所中学校 錦系中学校から本所中学校 錦系中学校から両国中学校 豎川中学校から両国中学校 本所中学校から豎川・錦系中学校	計画期間終了 (平成29年度) まで見送り	豎川中学校と錦系中学校の統廃合計画を見送りすることにより、通学区域を再編することができないため

■見直し後の統廃合年次計画

ブロック	学校名	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
C	吾孺第一中学校 立花中学校	← 統合準備 →			26年4月統合 吾孺立花中学校開校予定			
B	吾孺第二中学校 寺島中学校	← 線延べ →			実施見送り	→		
C	中川小学校 東吾孺小学校	← 線延べ →			実施見送り	→		
H	豎川中学校 錦系中学校				← 線延べ →	実施見送り	→	

・ ← → ・ ← → ・ 線延べ 計画策定時の統廃合計画

■見直し後の通学区域



■ブロック化

実施計画では、一つの中学校とその学区の小学校、幼稚園、保育園をブロック化した教育の考え方を打ち出しました。現在の実施計画では、統合を前提に8ブロック構想としていますが、適正配置や学区変更の見送りに伴い、当面は既存の中学校の学区を単位として、幼保小中一貫教育を推進していきます。

■今後の統廃合等計画

長期的に少子化傾向に変わりが無いことから、平成30年度以降に改めて、年少人口の動態、マンションの開発状況、少人数学級化の動向等といった諸要因について調査・分析した上で、新たな計画を策定すべきかどうかを検討します。